

「原水爆禁止二〇一四年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止二〇一四年世界大会」の開催にあたり、心より激励のメッセージをお送りいたします。

私たち日本国民にとって、広島・長崎の核兵器による未曾有の被害は、永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。しかしながら、戦後六十九年を経た現在も、世界は核兵器や戦争の脅威から未だ逃れることができておりません。

私たちは、世界唯一の被爆国の国民として、また、核兵器廃絶平和都市を宣言した釧路市民として、核兵器の廃絶と戦争の根絶による恒久平和を実現するために、決意を新たにするとところでございます。

「原水爆禁止二〇一四年世界大会」が世界から絶大な支持を得られ、二十一世紀が、核兵器のない希望のある世界となるよう、より広範な国際的共同を広げられますことを祈念申し上げ、激励のメッセージと致します。

二〇一四年八月

釧路市長 蝦名大也